

なじらね.jp

なじらね

春

どっとじょーびー

平成 28 (2016) 年 3 月 31 日 (木) 発行 - 第 15 号 -



【発行人】「にいがた青年海外協力隊を育てる会」 会長 羽賀 友信 / 事務局長 横山 容司郎
The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA
【事務局】〒950-2012 新潟県新潟市西区小針台1-15 株式会社 アルファブライト 内
Tel. 025-234-1500, Fax. 025-234-1002, E-mail n-sodaterukai@alpha-bright.co.jp
URL http://n-sojocv-najirane.com
【題 字】藤田 美枝子(桃水) (※「なじらね」とは、新潟弁で「元気ですか?」の意味)
【編集人】広報文化専門委員会 山田 規央

- NAJIRANE Headlines -

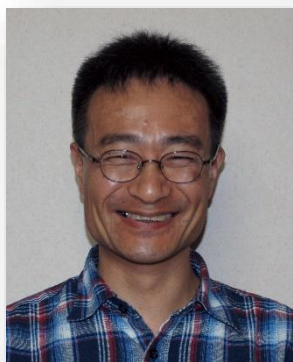
【巻頭言】「なじらね.jp」第15号の発行に寄せて	1
【壱】平成27年度(第7回)理事・役員会の報告	2
【弐】映画「クロスロード」新潟市民映画館シネ・ウインド公開イベント	2
【参】本県出身のJICAボランティア(JV & SV)が任国へ赴任! (平成27年度2次隊, 平成27年度3次隊)	3
【四】本県出身JICAボランティアによる近況報告	4 - 6
【五】青年海外協力隊50周年記念青木盛久親善大使表敬訪問	7
【六】ニイガタグローバルセミナー2016	7
Information, 壮行会&慰労会, 広告, 編集後記	8

にいがた青年海外協力隊を育てる会

検索

公式ホームページ随時更新中! Check it out !!

【巻頭言】 「なじらね.jp」第15号の発行に寄せて
～ 協力隊がもっと身近な存在であるために ～



当会理事(新潟県青年海外協力協会 第5代会長)

渡部 悟(わたべ さとる)

今年1月に森田前会長よりたすきを受けました、渡部です。正直なところ、私は、落ちこぼれ隊員の代表格であり、3ヶ月の訓練前に英語の話せない人を救済するための英語補完研修を受け、補完組として任地に赴きました。ミクロネシアでは、ホームステイ先の小学生に「おまえ英語何年勉強したの?」と言われる始末でした。それでも、2年後に帰国する頃には、チューク州の空港を埋め尽くさんばかりの島民と涙の別れがありました。日本の協力隊は、言葉が話せないと言われても仕方ありませんが、話せないからこそ相手に伝えるための工夫をすることで言葉では伝えられないものまでたくさん伝えているのだと思っています。ところが、言葉が通じない相手にたくさんのことを伝えて帰国した協力隊員が、なぜか国内あるいはこの新潟でその経験や考えをうまく伝えることができていない気がします。

昨年は協力隊事業50周年、新潟県のOV会が発足してから41周年も経つというのに、本県にはまだまだ帰国隊員が胸を張って「私は、協力隊員でした」と言える居場所が少ないのが現状です。初期の頃から協力隊派遣が続いているマレーシアでは、日本資本企業の日本人なども大勢いる中で協力隊員は「JICAの日本人」としてきちんとした居場所を持っていました。

私は、協力隊は特別な人間が行くのではないのだと言うことを多くの県民に知ってもらうために活動し、それを実現していくことが、にいがた青年海外協力隊を育てる会及びOV会の共通の目標であるべきだと考えています。そのためにできることを皆さんと一緒に考え、取り組んで行きたいということをこのたび、育てる会の理事及びOV会長就任における所信と致します。

近所のおばさんの井戸端会議で「おめさんの兄ちゃん協力隊に行ってきたの?おれのうちの子にも話を聞かせてやって来て〜」みたいな声が聞こえてくる日がくれば、国際化もグローバル人材も死語になるのでしょうか。そんな日が来るのを楽しみに微力ながらお手伝いしていきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

【壹】 平成27年度 理事・役員会開催の報告

去る、11月7日(土)、16:30～17:00、新潟会館にて「にいがた青年海外協力隊を育てる会」第7回理事・役員会を開催致しました。新潟県における「JICAボランティア家族連絡会」を当会と新潟県青年海外協力協会が運営するようになってから今回で7回目となります。

今回は森田理事が県外移住されることに伴い、新潟県青年海外協力協会会長が渡部悟氏に交替されたため、森田理事に替わって渡部氏が理事に選任されました。また、(一社)協力隊を育てる会前副会長の青木盛久氏(元在ペルー日本大使)に顧問に就任して頂くことになりました。更に長岡市の水澤元博氏(水澤電気株式会社専務取締役)に新たに理事に就任して頂きました。出来るだけ多くの民間の方々に役員、会員になって頂ける様に今後も頑張ります。

今後の事業として、次のことを審議させて頂きました。

- 1) 隊員に配布するための手ぬぐいを製作する。
- 2) 入会案内を再製作する。
- 3) 映画「クロスロード」の上映会を新潟県青年海外協力協会と共に開催する。

⇒「クロスロード」公式サイト <http://crossroads.toeiad.co.jp/>



(文：横山 容司郎 / 写真：山田 規央)



兵庫県OV会の手拭いを例示

【貳】 映画「クロスロード」新潟市民映画館シネ・ウインド公開イベント

師走の12月26日、『クロスロード』がシネ・ウインドで公開される日に、我らOVがPR活動を行ないました。

映画は、パーフェクトでした。映画制作前に体験談を募集しただけあって、青年海外協力隊の伝えたいこと、協力隊であれば誰もが経験すること全て入っています。最初から最後まで泣けます。プロジェクトXの様なサクセスストーリーではありません。エンディング曲もよかったです。海外放浪生活 が長かった井上支配人だから選んでくれた映画です。オープニングの隊員紹介。隊歌「若い力」の合唱。前日バングラデシュから着いたばかりの富田OV親子が観客に現地の紅茶とお菓子の入ったプレゼントを用意してくれました。育てる会の横山事務局長は、月刊誌「クロスロード」のバックナンバーを配布。司会の森田OV会長は家族親戚縁者引き連れての参加で、新潟最後の大仕事を大成功に納めました。

協力隊に参加してよかったといまだに思えるのは、地元素晴らしいOVがいることです。この映画をきっかけに青年海外協力隊参加者が増えることを祈念しております。

※県内で上映された映画館：

Tジョイ長岡(長岡市) 11/28(土) - 12/11(金)

シネ・ウインド(新潟市) 12/26(土) - 1/8(金)

(文・写真：昭和61年度2次隊・セネガル 川島 光彦)

青年海外協力隊発足50周年
新潟 記念映画「クロスロード」上映

元隊員ら、歌披露し祝福

協力隊は国際協力機構(JICA)が育成する若者が、2014年10月1日より、海外放浪生活を送る。この日は、JICAの経験者15人が集まり、隊歌「若い力」を合唱。今後は「若い力」を合唱し、協力隊の発展を祈る。

広がれボランティアの輪

イベント報告

12月26日土「クロスロード」
青年海外協力隊OV
によるイベント
&来場者プレゼント

「クロスロード」は青年海外協力隊を描いた映画です。新潟上映にあわせ、初日に新潟在住の青年海外協力隊元隊員OVによるイベントが行われました。2015年9月に上映した映画「クロスロード」の上映を記念して、古くから支援している新潟市北區のベリカリーフェ「エミタイ」の川島さんが、今回のイベント開催に際して、今回のイベント開催にあたり、協力隊の発展を祈る。上映後は協力隊の若者の地元の協力隊員らと、協力隊の発展を祈る。上映後は協力隊の若者の地元の協力隊員らと、協力隊の発展を祈る。

(月刊ウインド 2016年2月号)

(新潟日報朝刊 2015年12月27日)

【参】 本県出身のJICAボランティアが任国へ赴任！ (平成27年度2次隊、平成27年度3次隊)

本県出身の青年海外協力隊(JV)・シニア海外ボランティア(SV)の平成27年度2次隊(H27-2)新隊員9人(JV 8人+SV 1人)が平成27年9月下旬に、平成27年度3次隊(H27-3)新隊員2人(JV 1人+SV 1人)が平成28年1月上旬にそれぞれの任国へ出発しました。新隊員は訓練所での約70日間の派遣前訓練終了後に帰郷、それぞれ9月18日、12月18日に新潟県庁および新潟県国際交流協会に表敬訪問を行ない、当会からは横山事務局長が同行しました。これに併せ、直近に帰国していた本県出身隊員も同行し、帰国報告を行ないました。

毎回恒例の新隊員壮行会&帰国隊員慰労会を表敬訪問の夜に新潟県青年海外協力協会(JOCA新潟)と共催で実施しました。当会としては、任国で活躍する本県出身隊員の活動を地域ぐるみでサポートしていけるように取り組んでいきます。表敬訪問に参加した各隊員を紹介します。

新隊員（H27-2）		任国	職種
JV	①川崎志帆さん	ザンビア共和国	コミュニティ開発
	②小林由衣さん	ウズベキスタン共和国	PCインストラクター
	③坂井 侑さん	東ティモール共和国	コミュニティ開発
	④佐藤 美恵子 さん	ベリーズ	PCインストラクター
	⑤白井悠さん	バングラデシュ人民共和国	感染症・エイズ対策
	⑥菅沼弘美さん	マダガスカル共和国	助産師
	⑦中川真紀子さん	キルギス共和国	理学療法士
	⑧藤井貴子さん	エルサルバドル共和国	理科教育
SV	①平野正さん	インドネシア共和国	金属加工

①自分にできる事を精一杯やって、たくさん友達を作ってきます！

②将来につながるPCの楽しさを伝える。

③地域住民が誰でも安心して暮らせる社会を実現したい。

④PCの面白さを子供たちに伝えられるよう、頑張ります。

⑤現地の方が自立・自律して暮らせる様に住民主体活動をサポートしたい。

⑥マダガスカルの方々の笑顔のためにがんばります。

⑦子ども達といっぱい遊んできます！

⑧笑顔で精一杯頑張ります。

帰国隊員(6月帰国・H25-1)

JV:長谷部 麻梨絵さん(セネガル共和国/看護師) SV:西野 重雄さん(エルサルバドル共和国/食品衛生)



新隊員 (H27-3)		任国	職種
JV	①廣瀬 麻衣 さん	ニカラグア共和国	青少年活動
SV	①明間 篤夫 さん	南アフリカ共和国	溶接

①大好きな歌を通してニカラグアの人たちと交流しようと思います。

①現場スタッフとの良好な関係を作り、新潟の名物を教えてあげたい。

帰国隊員(9月帰国・H25-2)

JV:伊藤 真由美さん(東ティモール共和国/薬剤師), 大島 義章さん(エチオピア共和国/理科教育)
佐藤 仁直さん(ガーナ共和国/PCインストラクター), 坪谷 純希さん(ペルー共和国/コミュニティ開発)



地図と国旗は「世界地図・世界の国旗」HPより引用 (<http://www.abysse.co.jp/world/index.html>)

(文: 山田 規央 / 写真: 横山 容司郎)

藤原 明子 Ms. Akiko FUJIWARA, JV
(平成27年度1次隊 / パナマ共和国 / 数学教育)



Q1; 任国や任地はあなたにとってどんなところですか？

パナマといえば「パナマ運河」「ゲイシャコーヒー」しか知らなかった私ですが、今となっては、ここは第二の故郷のように感じています。豊かな自然に囲まれ、魅力がいっぱいの地です。ホームステイ先の家族、配属先の先生方職員の皆さん、生徒たち、町の人たち…たくさんの方々に温かく受け入れて頂き、支えて頂いています。この地に来ることができて本当によかったと思う毎日です(1年を通して暑い気候には、少し参っていますが...)。

Q2; 現地の人々の生活状況はどんな様子ですか？

パナマ運河の影響もあり、町には物が溢れています。携帯電話は中高生も手にしているし、車や様々な電化製品も当たり前のように使われています(日本製品も非常に多いです)。首都には大きなビルが立ち並び、まるで先進国のようです。そして、私が今住んでいる村は、観光地と地方都市に挟まれた小さな小さな村です。自然が多く、治安も安定しています。家の前を、カウボーイが馬に乗って通ったり、牛が散歩していたりとびっくりさせられることもあります。また、お祭りが非常に多く、毎週のように夜遅くまで音楽が鳴り響き、花火が上がっています(この国には、騒音という概念がないようです)。一見「開発途上国」ではないように感じられますが、貧富の格差はどんどん広がっており、課題も多いのが現状です。電気のない村や水道設備の整っていない村も多くあります。しかしながら、家族を大切にし、どこかのんびりと、自分の思いに素直に生きている姿は、羨ましくもなります。

Q3; あなたはどんな活動をしていますか？

首都からバスで9時間ほどの小さな村の大きな中学校で働いています。数学教育の充実を図るために活動しています。現地の先生とともに授業を行いながら、様々な授業方法を紹介し、実践して頂いています。また、会議等で日本の教育について紹介させて頂いたり、他の任地の隊員と協力し、算数セミナーを行ったりもしています。

Q4; これまでに嬉しかったこと、辛かったことは？

嬉しかったことは、数えきれないほどです。毎日、様々な人との関わりの中で、小さかったり大きかったりの「嬉しい」を感じているように思います。書き出したらきりがありませんが、授業中に「わかった!!」という生徒の顔が見られたときや、紹介した技法を先生が実践してくださったときは、思わず帰り道にスキップしてしまいそうになります。また、「仲間として認めてもらっているな」と感じられる瞬間は、本当に幸せです。

辛かったこと...これも数えきれないほどありますが、やはり言葉の壁を感じる瞬間です。まだまだ勉強中のスペイン語。自分の思いをうまく相手に伝えられないことや、相手の思いを受け止めることができずにいることもあり、もどかしい思いを何度もしました。しんどい思いをした際に、振り返ると結局は自分の語学力の低さに起因している気がします。しかし、思いが通じ合ったときの喜びは大きくて、結局は嬉しいことに繋がっています。

Q5; 今後の予定や抱負を教えてください。

現地の文化や習慣、先生方が積み重ねてきた経験や教育観を大切にしながら、授業力の向上、授業内容の向上のために尽力していきます。パナマ人はどちらかというと個人主義であるため、先生間の技術や知識の共有があまり行われていません。「繋ぐ」「協力」「共有」をテーマに活動を進めていきます。身軽に動けるボランティアの立場を活用して、色々な場面で橋渡し役、潤滑油役になれたらと思っています。先生方が子どもたちのために協力して、教育活動に取り組んでいく現場になることをめざします。あと1年、自分を諦めず、おごらず、感謝の気持ちを忘れずに、大好きな人たちの何か少しでも役に立てたらと思います。



高島 繁生 Mr. Shigeki TAKASHIMA, SV (平成26年度2次隊 / カンボジア王国 / 道路)



Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところですか？

カンボジアは日本が戦後、海外における初の平和維持活動を展開し、成功をおさめた国であり、その後も復興のための種々の支援を行っており、そんな背景もあって日本人に対しては尊敬と親しみをもって接してくれる人々の多い国である。配属先のシェムリアップ州公共事業運輸局においても、内戦後の日本の貢献、特に、1990年代後半から実施された国道6号線の改良事業を通して、インフラ開発における日本の技術力の確かさや、成果物の品質の高さに信頼を寄せていることから、ボランティアによる技術協力に対しては相応の期待をもっている。そのような背景のもとでボランティアとしてカンボジア側の要望に応じていくということは、大きな喜びでもある。

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子ですか？

シニアボランティアとしてのカンボジアにおける活動は今回が2回目で、前は2005年から2007年にかけて、アンコールワットをはじめとするシェムリアップ周辺のアンコール遺跡群の保全と修復を主な任務とするアプサラ機構の都市開発局で活動を行っていた。当時はまだ内戦後の混乱がまだまだ色濃く残っており、安全上の理由で、JICAボランティアが移動に使ってはいけない道路や入域してはいけない地域が数多くあった。また、当時は地方の幹線道路の多くは未舗装で、雨季には流水で寸断されて通行不能となる箇所も多くあって、農村部からシェムリアップ市街へ働きに出るにも多くの困難を伴っていた。農村部からの働き手の多くが街に入るために利用したのが国道6号線で、朝夕の通勤時間帯にはそうした人々の乗る自転車の列が街はずれの国道に延々と続いていたものである。それから10年ほどが経った現在、観光産業の隆盛もあって街やその周辺の状況は大きく変わっている。地方と街を結ぶ道路の多くが改良されて、交通利便性は大きく高まり、それに伴って経済成長の恩恵が地方にも大きく及んで、全体として人々の生活も大きく向上しているように感じる。地方から街に働きに出ていた人々の乗り物も、自転車からモーターバイクに変わっている。

Q3;あなたはどんな活動をしていますか？

シェムリアップ州公共事業運輸局でスタッフの技術力や行政能力の向上を活動目標にして、GISを利用した道路台帳の作成、交通渋滞解消のための道路網の再構築と交差点改良などの業務に携わっている。

Q4;これまでに嬉しかったこと、辛かったことは？

特に嬉しいとか辛いとかの経験はない。ただ、つい先日、かつての配属先であるアプサラ機構のカウンターパートが死去し、とても悲しい出来事となった。

Q5;今後の予定や抱負を教えてください。

経済発展に伴ってシェムリアップの市街地も拡大していることから、こうした新興市街地をも含めて域内の道路台帳を完成させること、災害に脆弱な密集市街地のアクセス改善策をカンボジア側と練り上げること、道路改良計画、交差点改良計画などの計画・設計の実務を通して局スタッフの技術力向上を図ること、などを今後行っていく予定。



岡田まりあ Ms. Maria OKADA, JV (OV) (平成25年度2次隊 / フィジー共和国 / 小学校教育)



Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところでしたか？

活動中はなんだか好きになれないと思ったこともありましたが、今となっては第2の故郷です。家族や周りの人とのつながりを大切にしているところ、困った人がいたら当たり前のように手を差し伸べるところ、そしていつでも明るく笑顔で、今を楽しんでいるところが大好きです。住んでみて、「幸福度世界一」と言われる理由を実感しました。

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子でしたか？

街に住んでいるか、村に住んでいるかで生活は異なりますが、共通しているのは毎日甘〜い紅茶を飲むところです。日本の1.5倍くらいの大きさのマグカップで、大きなスプーンに山盛り3杯は砂糖を入れて飲みます。さらによく食べるので、みなさん縦にも横にも大きいです。子どものころは細いのにな...



民族衣装スルチャンバ

Q3;あなたはどんな活動をしていましたか？

首都の小学校で、算数教育向上を目的として活動を行っていました。担任の先生と一緒に授業を行う他、先生向けに研修や研究授業も実施しました。フィジーの算数は、最初に先生が説明し、残りは板書を写し問題を解くだけという授業が主流でした。そこで、数字カードや時計などの教材教具を手作りしたり、ゲームを取り入れたり、子どもたちが楽しく算数を学べるように工夫しました。

Q4;任期中、嬉しかったこと、辛かったことは？

授業中、子どもの笑顔が見れた瞬間が嬉しかったです。私は、4年生のクラスに毎週かけ算九九のチェックに行っていました。他の子がどんどん覚えていく中で、2の段がずっと覚えられなかった女の子いました。彼女が2の段を言えたとき、一緒に喜んだのが忘れられません。簡単な2の段ですが、彼女にとっては大きな成長だったと思います。

辛かったのは、あまり口に合わない料理を進められたときにまずいと言えなかったことです(笑)。パクチーが苦手なのは公言していました。

Q5;今後の予定や抱負を教えてください。

現在、青年海外協力隊事務局に国内協力員として勤務しています。JICAボランティアをより多くの人に知ってもらえるよう尽力していきたいと思っています。任国のフィジーに3年後にまた訪問すると決めています！お世話になったフィジーの人に再会し、一緒に甘い紅茶を味わいたいです。



算数の時間



村ではココナッツ飲み放題

大嶋 義章 Mr. Yoshiaki OHSHIMA, JV (OV) (平成25年度2次隊 / エチオピア連邦民主共和国 / 理科教育)



Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところでしたか？

コーヒー(エチオピアはコーヒー発祥の地と言われている)が美味しくて、主食のインジェラ(発酵巨大蒸しパンケーキ)は赴任1年半で突然食えなくなっていて、エチオピア人女性は奇麗で、恥ずかしがり屋だけど外国人に話しかけたらエチオピア人はすれ違い様にボソッと「チャイナ」と耳元で言ってきて、本当に色んな意味で面白くて、魅力溢れる国、任地でした。

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子でしたか？

教員の給料は月1,000~3,000ブル(6,000円~18,000円)程度で、月の平均給与が2,000ブル(12,000円)と言われています。しかし、500mlのソフトドリンクが13ブル(78円)するので、日本人の感覚からすれば、「78円なら自販機よりも、スーパーで買うよりも安くていいなー」となりますが、現地人の金銭感覚を日本人に当てはめて考えると、ペットボトル1本が900円もし、贅沢品であることがよくわかります。また、国が発展しているこの時期に、ある程度まとまったお金や土地を持っている人が投資や不動産賃貸等を行い、より富んでいく様子がよくわかりました。

Q3;あなたはどんな活動をしていましたか？

理科教育隊員として、首都にある公立小学校の実験室を管理するおじさんをしていました。実験の準備や手伝い、片付け、理科科セミナー・サイエンスショーの実施、現地にあるものを使用した実験道具・動画教材・計算カードゲームの作成を行いました。また、現地生徒と新潟の高校生とでテレビ通話、「世界に一つだけの花」を生徒が覚えてJapan Festivalで合唱、日本人チーム対配属先チームのフットサル交流試合等、職種にとらわれず様々なことができました。

Q4;任期中、嬉しかったこと、辛かったことは？

考案した計算カードゲームを、生徒達が気に入ってくれて休み時間になると実験室で遊んでくれていました。さらに、自分たちでノートを破ってカードを手作りし、教室でも遊んでくれていたのを見つけたときは本当に嬉しかったです。

赴任後2ヶ月程で、配属先のスーパーバイザー(監督者)が主体となり、配属先の実験室を会場、配属先の理科教師を講師、私をカメラマンとして、周辺校の理科教師を集めてセミナーを実施していたため、要請内容のメインの部分が既にできており、自分のやるべきことがわからなくなったときは辛かったです。

Q5;今後の予定や抱負を教えてください。

無事に歩き四国お遍路も終え、2016年4月からは水環境専門の建設コンサルタント会社で働きます。海外事業部に所属するので発展途上国の水環境インフラを整備し、世界の笑顔を増やしていきたいです。



動画教材を作成している様子



Japan Festivalで合唱した生徒、教師

【五】 青年海外協力隊50周年記念青木盛久親善大使表敬訪問

半年以上前から考えて調整してまいりました、青木顧問による上越市及び上越商工会議所の表敬訪問と講演会では、講演会が行えなくなりましたが懇談会を3月4日に行う事ができました。

上越市は、青木顧問を玄関まで出迎え・応接室の椅子の位置・市長の応接室の入場等大変気を使った対応を行って頂きました。市及び担当者に感謝する次第です。すなわち、青木顧問の経歴における迫力がそうさせたものだと思います。

表敬訪問の内容は、青年海外協力隊50周年の御礼と上越市役所における現職参加及びOVの特別枠等での採用です。青木顧問におかれては、上越市長からの質問等に関して適格な回答で、プラス我々の表敬訪問の主旨を適格にお話しいただけたと感じます。その話の背景での記憶力のものすごさを知りました。2015年9月12日の楚山OVが企画しました長岡での講演会を聞いたときは、テロが迫るとのテーマでしたので青年海外協力隊の話としては、内容に少々物足りなさを感じていましたが、上越市長と対面でのお話の時には、流石元外交官という迫力を感じた次第です。翌日の懇談会は、OVで話合いをしても堂々巡りで話が進まないと感じていましたので、くびき野NPOサポートセンター様をお願いして行いました。この会での話合いの内容を色々と考えましたが、青年海外協力隊を上越地域社会でどの様に活かすとの話合いになりました。懇談会の時には、我々の意見に適格にコメントを頂きました。このような細かい内容までお考えいただいているのかと再度感激した次第です。

この計画を行った事によりOV及び他の機関の方々とのコミュニケーションがより深くなったと感じます。最後に、この計画にご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。

(写真：上越タイムス社 提供、文：理事 星野 幸雄)



【六】 ニイガタグローバルセミナー2016（当会後援）

2月7日(日)、新潟日報メディアシップにてニイガタグローバルセミナー2016を開催しました。例年に引き続き、県内のNGOと共催で、青年海外協力隊やスタディツアーなど海外派遣プログラムの体験談報告とブースごとの見本市を行いました。3回目となる今年も多くの方々にご参加頂きました。

まずパネルトークでは、各団体のプログラム参加者4名に参加のきっかけから現地での体験、自身の変化などについてお話し頂き、コーディネーターを新潟国際ボランティアセンター三上事務局長に務めてご参加頂きました。各団体のプログラムの違いだけでなく、きっかけから体験まで4者4様で非常に興味深い内容でした。その後は団体ごとにブースを設置し座談会を行い、最後に参加者同士の意見交換の場としてワークショップを行いました。

今回は私にとっても初めて参加でしたが、共催団体の方々、OB・OGの皆さんはじめ、参加して下さった方々のおかげで無事終えることができました。ありがとうございました。

(文・写真：JICA新潟デスク 和田 直)



県北からも、青年海外協力隊を
応援しています！

ケーブル・ハーネス加工、電装品・制御盤の組立

株式会社 興栄電機
KOUEI Electric Co., Ltd.

〒959-3121

新潟県村上市佐々木577

Tel. 0254-62-5653, Fax. 0254-62-5650

URL <http://www.koueielectric.jp>

電氣が使える「あたりまえ」私たちが支えます。
電氣工事、土木工事、とび土工、機械器具設置、
消防設備工事

胎内電建工業株式会社

〒959-2657

新潟県胎内市江上966

Tel. 0254-43-5345, Fax. 0254-43-5389

URL <http://tainaidenken.com>

私達は協力隊応援団です！
果物のことは大野青果に！



新潟市中央卸売市場
大野青果 株式会社

代表取締役 大野 修

〒950-0114

新潟県新潟市江南区茗荷谷711

Tel. 025-257-6220, Fax. 025-257-6219

- INFORMATION -

1. 平成28年度JICAボランティア募集のご案内

平成28年4月1日(金)～5月9日(月)の期間、青年海外協力隊(20～39歳)、シニア海外ボランティア(40～69歳)の志願者の募集が行なわれます。応募に関する詳細は、下記へご連絡またはJICA公式HPでご確認下さい。

《体験談&説明会》◆長岡会場：平成28年4月2日(土)14:00～ 長岡市国際交流センター・地球広場

◆上越会場：平成28年4月7日(木)18:30～ 上越市市民プラザ 第一会議室

◆新潟会場：平成28年4月17日(日)14:00～ 新潟日報メディアシップ6階 ナレッジルーム

【お問い合わせ】 JICA新潟デスク・和田さん Tel. 025-290-5650 / Fax. 025-249-8122, JICA公式HP <http://www.jica.go.jp>

2. 平成28年度にいがた青年海外協力隊を育てる会・総会のご案内

日時：平成28年6月18日(土)、15:00～(予定)

会場：じよいあす新潟会館 3階ぱたん ⇒

(新潟市中央区幸西3-3-1 Tel. 025-247-9307)

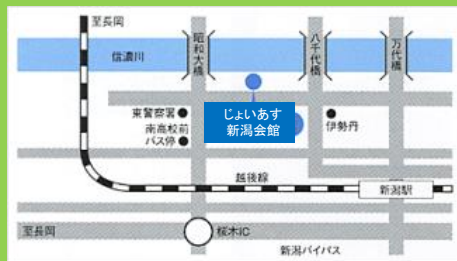
内容：昨年度の活動報告と今年度の活動方針、講演会(講師 中山輝也氏)

帰国隊員報告会、懇親会(お一人5千円) ※お誘い合わせ可。

【お問い合わせ】 当会事務局まで(会員には後日ご案内を郵送)

3. 映画「クロスロード」上映会(当会主催)のご案内

平成28年6月4日(土)、「アフリカンフェスタinながおか」が開催されるアオーレ長岡にて上映会を開催します(10時と13時の2回上映、鑑賞は無料)。



新潟県から派遣される新隊員の壮行会および新潟に帰国した隊員の慰労会は年4回(3月、6月、9月、12月)開催。案内はMLで配信!



(写真：横山 容司郎, 渡部 悟)

協大賛募広集告

私達は新潟から青年海外協力隊を応援しています!
金属加工のごとならABCにお任せ下さい

相場産業株式会社



〒955-0814

新潟県三条市金子新田1691-5

Tel. 0256-35-7460, Fax. 0256-35-7462

URL <http://www.abc-tool.co.jp>

壊れた自転車は、電話一本でOK!
出張修理専門

(新潟駅南地区限定)

動く自転車屋

森田 敏明

〒950-0941

新潟県新潟市中央区女池7-10-3

Mobile 090-9009-4709

URL <http://ugoku-jitensyaya.com>



感動と夢、そして感謝



21世紀の生涯学習を推進する

株式会社アルファブライト

〒950-2012

新潟県新潟市西区小針台1-15

Tel. 025-234-1000, Fax. 025-234-1002

URL <http://alpha-bright.co.jp>

協賛広告
募集中!

世界にはばたこう、日本の心!

そやま接骨院

院長 楚山 恭男

〒940-1165

新潟県長岡市水梨町1106-15

Tel. & Fax. 0258-22-3654

静かな森と美しい庭園

かん すい ろう

新潟五頭温泉郷

村杉温泉

環翠楼

〒959-1928

新潟県阿賀野市村杉温泉

Tel. 0250-66-2131

Fax. 0250-66-2553

URL <http://kansuirou.jp>



川島OK×井上支配人
@シネウインド

今年、私の任国だったタイから職場に大学生が実習に来ることになりました。その受け入れに当たり、現地の学校担当者とは何度もメールでやりとりしました。帰国して8年経ちますが、辞書片手にタイ語でなんとか交渉を成し遂げることができました。思い起こせば派遣前に「言葉は習うより慣れろ」と言われたような気がしますが、その後現地で揉まれて体得したものは、なかなか忘れないものですね。(พรทิพย์)